

第2学年 教科（ 英語 ） 単元名「 ディスカッションをしよう 」

●単元（題材）の目標

- （1）相手が伝えたいことを聞き取り、自分の考えをもち、それを相手に伝える力を身につける。
- （2）ディスカッションをするために必要な語彙や表現を理解し、建設的な話し合いを目指す。
- （3）単元の目標を理解し、自らの理解度や学習方法を踏まえて学び方や学ぶ内容を選択し、自己調整を図る

●指導計画（全8時間扱い）

【第1～2時】

- ListeningやTalking活動を通して話し合いに使う表現を理解する。

【第3～7時】

- 与えられたテーマについて、役割を決めてミニディベート・ミニディスカッションを繰り返す。
- 意見交換や中間交流を通し、他の生徒の意見を参考にしながら話す内容について自己調整を行う。
- 自己表現のスキルについても、段階的にタスクを変えて自己調整を行う。
- 相手に伝える表現力を向上させるために、スキットの音読チャレンジや翻訳機能を使った音読練習を行う。

＜指導の個別化、協働的な学び＞

【第8時】

- これまで学習したことを活かし、ディスカッションをおこなう。

＜学習の個性化、協働的な学び＞

●単元（題材）における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

個別最適な学び

＜指導の個別化＞

- ・学習者用デジタル教科書を使って繰り返し音声を確認して正確な音声のインプットをしたり、自分の理解度に合わせた音読チャレンジや翻訳機能の音声入力を活用した発話練習をしたりして、英語の表現力を向上させる。

＜学習の個性化＞

- ・目的・場面・状況が設定された課題解決に向けて、自分の興味、関心に合わせて単元末の話し合い活動につなげる。
- ・相手に伝えたり、質問や感想を伝えたりするための語彙や表現の精選を通して、既習事項と新出語彙・表現の活用を図る。

協働的な学び

＜協働的な学び＞

- ・他の生徒と意見交換や学習成果の共有等の他者参照を行い、知識・技能の定着および思考・判断・表現の機会創出、質の向上を図る。

●個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICTの活用

- ・指導者用デジタル教科書
- ・学習者用デジタル教科書
- ・翻訳機能の音声入力（google翻訳）
- ・共有機能（Padlet）
- ・共同編集機能（Jamboard）

ICT端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」 指導略案

英語科

指導者 宮野、谷田、亀山

2年1,2組（少人数クラス）

1. 題材名 「お世話になった先生に感謝の気持ちを伝える方法を話し合おう」

2. 授業のねらい

- ・前時までにミニディベートやミニディスカッションで積み重ねてきたスキルと表現を活用して、ディスカッションを行っている。
- ・より良い感謝の伝え方を決定するために、お世話になった先生について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。

3. 指導過程

- ・担任に自分たちの思いを伝える方法を考え、理由と共に仲間に伝える際のキーワードを考えさせる。
- ・グループで役割を決め、課題解決に向けて話し合いをさせる。
- ・話し合いの内容をICTを使って他グループと共有させる。

学習活動	指導上の工夫・留意点	学習活動の観点 (個別化・個性化・協働)
【帯活動】（7分） ・ Useful phrases ・ Reading Challenge	・ これまでに学習した、活動に使える表現を復習する ・ 理解度に合わせて既習のスキットの音読練習やチャレンジをする	指導の個別化
【導入】（10分） お世話になった担任の先生に感謝の気持ちを伝える方法を話し合おう ・ 担任について ・ 感謝の気持ちを伝える方法について	・ 本時のテーマを明確に伝える。 ・ 担任の好みや特徴について考え、ペアや学級で共有させる。 ・ 思いを伝える方法を個人で考え、その理由と、仲間に伝える際に使うキーワードを用意させる。	
【展開】（20分） ・ 班で役割を決め、既習のスキルや表現を活用してディスカッションを行う S1: Lead a discussion S2: Say an opinion S3: Make a comment 1 話者を指名したり感想を伝えたりする 2 意見を言うときには理由も伝える 3 自分の意見と比べながら聞き、感想を伝えたり質問をしたりする	・ 既習のスキルや表現と役割に応じた表現を使うよう指示する。 ・ 一方的に意見を伝え合うだけでなく、質問したり感想を伝えたりして、より良い結論を導き出せるよう留意させる。 ・ 全員が話し合いに参加できるよう留意させる。 ・ 途中で「担任の最新情報」を伝え、話し合いを深化させる。	協働的な学び
【まとめ】（10分） ・ ディスカッションの内容を共有する	・ Padlet上にディスカッションの内容を投稿させる	協働的な学び

4. 参考資料等

- ・ 翻訳機能の音声入力（Google翻訳）
- ・ 共有機能（Padlet）